

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: R3年10月29日

事業所名 ぐるーあつがSUN

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		5			●静のスペース、動のスペースを分けている。	ご利用者様が必要なスペースを確保できるよう配慮していきます。
2 職員の配置数は適切である		4	1		●利用者、職員の人数を見て場所を考えて支援する。	現在、法令の基準を大幅に超えた職員を配置しています
3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5	0		●トイレ等、段差が無い作りになっている。 ●トイレ等もバリアフリー化している。段差も少ない。	可能な限りバリアフリー化に努めて行きます。限られたスペースの中で、よりよい構造化がすすめられるよう検討していきます。
4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		4	1		●週に1回振り返りをしている。	日課の振り返りなど、職員間の話し合いをこまめに行い、共通理解を深め、業務改善に取り組みます。
5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		5	0		●保護者の要望により話し合いを設け、職員間で共有し対応している。	アンケート結果を受け、業務改善に向け取りくみんでいきます。また、日ごろから保護者様と連携を図り、職員間での認識の違い内容、周知の徹底に努めます。
6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		2	2	1		保護者様へのアンケート結果を踏まえ、自己評価表を作成し、ホームページに公開します。
環境・体制整備						

業務改善

7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2	2 ●開所したばかりで外部評価がまだないのでこれからあれば聞きたい。	第三者による外部評価が必要か、検討します。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	●研修があれば声掛けがある。 ●研修の機会があれば参加したい。	今後も、外部研修に職員を派遣し、支援に活かせるように努めます。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		●本見面談や体験時の観察、保護者面談、関係機関との情報共有を行って分析し、計画を立てている。 ●定期的に職員間で話し合いを設け、対応策等情報を共有している。	ご利用者様と保護者様の情報を職員で共有し、それを基に適切にアセスメントし、児童発達支援計画を作成します。
10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		アセスメントツールを通して、客観的にご利用者様の状況を把握します。
11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		●職員間で意見を出し合って決めている。 ●「こんな事したいね」「OOOに行ってみたいね」等、職員の意見を聞きながら行っている。 ●一人が基準になり行っているが今後は皆で役割をもてる様にしていきたい。	様々な日課を通して療育ができるよう職員皆で検討し、ご利用者様の意見も取り入れながら立案します。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	●前の月に作ったものが同じにならないよう心がけている。 ●皆で案を出し合っているが子ども達の発案ももっと取り入れたい。	ご利用者様の特性をベースに主体的に、楽しく取り組めるような日課の作成に努めます。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	3	●平日は、学習の時間を作れるよう心がけている。 ●長期休暇に対しては、これから考えていきたい。	季節にあつた日課を取り入れ、支援します。

14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	●利用者の意見も聞きながら時間の都合も見ながら臨機応変に対応している。	ご利用者様の状態に合わせて、個別活動、集団活動を組み合わせていきます。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	●その都度、声掛けしながら役割を決め、支援を行っている。 ●全体で集まり、支援内容等を打ち合わせ、話し合っている。 ●朝にミーティングしている。	職員間の連携が図れるよう、その日の担当が一日の流れや日課の進め方を説明し確認します。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4	●送迎等で時間が無く、その日の内には出来ていない。	ご利用者様の人数によって、その日で振り返りの時間を作ることが困難です。今後、ミーティングや朝の会の後に、前日の日課の振り返りの時間を作れるよう努めます。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		日々の支援記録を基に支援の検証を継続します。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			モニタリングにより支援の達成度、ニーズの把握に努めます。



19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5			●季節や行事に合った日課を取り入れている。	基本活動を踏まえながら、ご利用者様が楽しんで日課に参加できるよう工夫します。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			●児発管が参加している。	担当者会議に出席し、情報の共有が図れるよう、体制を維持します。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子ども下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	2			連絡会に参加できる体制を維持し、学校へのお迎えの際は、情報交換を継続します。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1			その都度、担当者会議や連絡会に参加できる体制を維持します。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしている					
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		●コロナの関係で行えていない。	今後も外部研修に参加し、そこで学んだことを、支援に活かし、職員全体の専門性を高められるよう努めます。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5			●月に一回は地域交流の日課がある。 ●児童館を利用したり、公園遊びを日課に取り入れている。	コロナ感染症が終息したら、地域の児童館や公園等を積極的に活用します。

関係機関や保護者との連携

27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3		●連絡帳や送迎時電話より伝え合っています。 ●送迎の際に一日の出来事や出来た事を伝えている。 ●連絡帳や送迎時の申し送りでその日の状況を伝え合っている。 ●連絡帳や、帰りの会の申し送り時等でも行っています。	コロナ感染症が終息したら、参加します。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				連絡帳や送迎の際に支援内容やご利用者の様子が伝えられる体制を維持します。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3		●今のところ行っていない。	研修、資料、講習などがあれば、保護者様にお伝えしていきます。また、職員全体で内容が深められるよう勉強会を行います。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				契約の際には読み合わせを継続します。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			●その都度、管理者に相談し、意見をまとめて伝えていく。	保護者様からの相談については、職員全体で話し合いながら適切に対応できるよう努めます。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4			こういった方法で開催できるかを検討します。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	3		●今後、苦情等の話があった場合は、管理者に細かく伝え、迅速に対応出来る様にする。	即、対応できる申し入れについては現在の体制を維持し、職員全体で検討が必要な相談については、その旨を伝え適切に対応します。



## 説明責任等

34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>●日課表を作成し、配布している。</li> <li>●毎月日課表をお渡ししています。</li> </ul>	日課の様子などをホームページで発信できるように努めます。
35	個人情報に十分注意している	5			●鍵付きの書庫で厳重に保管しています。	内部研修を行い、適切に個人情報の取り扱いについて、理解を深めます。
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>●サインや絵カードを使っている。</li> <li>●ジェスチャーやマカトンサイン、絵カードを作成し、意思疎通。</li> </ul>	絵、写真カードや分かりやすい言葉、文字盤などを継続し、意思の疎通を図っていきます。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	1	●コロナの為なかなか実現できずにいる。交流。	コロナ過でどういった方法で地域に開かれた運営ができるか、検討します。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1			マニュアルを作成していますが、保護者様には周知できていないので、訓練の様子などをホームページに掲載できるようにします。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	3			
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2			内部研修を継続し、理解を深めていきます。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載している	3	2			身体拘束について事業所全体で理解を深め、必要であれば、放課後等サービス計画に記載します。

非常時等の対

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	4	1		契約の際に保護者から聞き取りを行い、アレルギーのある子は定期的に把握・確認を行う。また今後医師の指示書が必要になるか検討します。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	3		ヒヤリ・ハットを活用し、緊急性がある場合は迅速に対応し、安全に支援が提供できるよう努めます。